手當に不滿で爭議の準備

不穩の北越製紙

市川市北越製紙會社市川工場ではさきに自發的に物價手當一割支給を發表したが、總同盟市川第五支部を結成してゐる、從業員百八十五名は不服で三名の代表委員を選び二割支給を交渉し決裂したので十六日夜總會を開き再び二割支給の外七項目に亙る待遇改善を正式に要求する事に決定、會社側の回答如何で爭議に入るべく金子支部長は既に注意事項として組合員に鬪爭準備のため商店その他への支拂ひを一時中止せよと指令を發し、十七日夜は總同盟聯合會幹部と支部幹部の祕密會を開き對策を協議した

北越製糸に罷業

要求を相手にされず

市川市北越製糸會社從業員百八十余名は會社に左の要求を提出中であつたが會社側から何等の回答もせず面會さへも拒絶されたので十九日午後三時一齊に機械の運轉を停止、遂に總罷業に入り爭議本部を市川市勞働會館に置き氣勢を擧げて居る、本部では

市川支部聯合會の應援だけでも三ケ月の持久戰が出來、本部の應援を得れば半歳は大丈夫だといつて居る

一、從業員より成る總同盟市川第二支部を公認すること

一、賃銀一割値上げを二割とすること

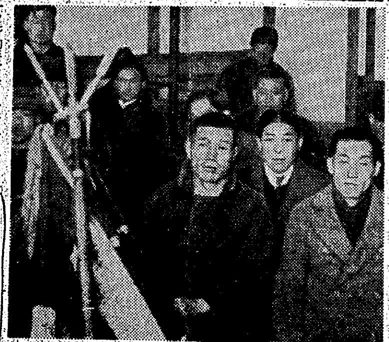
一、臨時工三十名を本工になほすこと

一、原料倉庫請負人夫を常用になほすこと

一、負傷手當の待遇をよくすること

一、賞與一週間分を三十日分とすること

一、皆勤手當一日分を二日分とすること



罷業團の幹部達